

# 市の財務諸表

## バランスシート、行政コスト計算書

大館市では、市の財政状況を市民の皆さんに分かりやすく知っていただくため、平成14年度の決算に基づいて「大館市のバランスシート(平成15年3月31日現在)」を作成しました。バランスシート(貸借対照表)は、学校、福祉施設、道路などの資産とその建設のために必要となったお金を対比してある一時点における市全体の資産や負債を示したものです。これにより、従来の「歳入歳出決算書」では分からなかった資産や負債の状況をおして市の財政状況をより分かりやすく市民の皆さんにお知らせできると共に、得られた情報を分析することで、健全で効率的な財政運営に生かすことができるようになりました。

### 貸方

#### 資産調達の内容

(負債の部) これから負担する分	平成13年度末	平成14年度末
1. 固定負債	284億1千万円	286億2千万円
(1) 地方債	238億円	240億5千万円
(2) 債務負担行為	0円	0円
物件の購入等	0円	0円
債務保証又は損失補填	0円	0円
(3) 退職給与引当金	46億1千万円	45億7千万円
2. 流動負債	23億円	23億5千万円
(1) 翌年度償還予定額	23億円	23億5千万円
(2) 翌年度繰上充用金	0円	0円
<b>負債合計</b>	<b>307億1千万円</b>	<b>309億7千万円</b>

平成14年度末の市債残高(翌年度償還分を除く)

平成14年度末に全職員が退職した場合の手当の試算額

翌年度の償還元金

(正味資産の部) これまでの世代で負担した分	平成13年度末	平成14年度末
1. 国庫支出金	101億8千万円	105億7千万円
2. 都道府県支出金	53億3千万円	53億円
3. 一般財源等	323億5千万円	324億4千万円
<b>正味資産合計</b>	<b>478億6千万円</b>	<b>483億1千万円</b>

有形固定資産を取得するために使った国や県からのお金

資産を取得するために使った市税など

<b>負債・正味資産合計</b>	<b>785億7千万円</b>	<b>792億8千万円</b>
------------------	-----------------	-----------------

1. 増えた資産と減った資産  
平成14年度末と13年度末の有形固定資産を比較してみると、土木費(41%)と教育費(29%)の割合が依然として高く、資産残高も増加していることが分かります。この理由として、土木費では市道有浦東台線道路改築事業や高館・樹海公園新設事業といった大きな工事が進められていること、教育費では、平成14年度から城西小学校改築工事が始められたことが挙げられます。一方、民生費や労働費、消費費といった費目では資産残高が減少していますが、これらは減価償却費に伴うものです。

なお、この残高が低いからといって、その分野の行政サービスが少ないということではありません。例えば、毎年度の予算で高い割合を占める民生費の多くは扶助費などのようにその年度において消費されてしまう性格の行政サービスです。そのため、社会資本の形成とは結びつかないこれらの経費は、バランスシートには表われてきません。

2. 貯蓄と借入れの状況は?  
資産の部の「投資等」は、約1億円の減少となっており、中でも基金(市が行う積立金や運用資金)の減少が大きいことが分かります。これは、城西小学校改築事業のために教育施設等整備基金を取り崩したためです。

基金とは、家計でいえば貯蓄に当たるもので、バランスシート上では前述のほかに流動資産の中に財政調整基金、減債基金の積み立て残高が計上されています。貯蓄に相当するこれらの基金の合計は約24億円ですが、それに対する借金(負債の部・地方債と翌年度償還予定額の計)は264億円と10倍以上になっていることが分かります。

### バランスシートから分かること